

不動産管理システムと自動連携

軒先 駐車場シェアサービス

駐車場シェアサービス「NPS」と連携する。開始した。

「NPS」と連携することにより、既存の不動産管理システムと「軒先パーキング」をシステム連携させる「NPS（ノキサキパーキングマネジメントシステム）」の自動連携が終了すると貸し出しを開始した。

「NPS」と連携することにより、既存の不動産管理システムと「軒先パーキング」の導入に月極契約が入ると自動的に軒先パーキングの貸し出しを停止、月極契約が終了すると貸し出しを開始することができる。

システム連携により、期を含めた管理会社の工数の削減が可能となり、「軒先パーキング」の導入・運営がスムーズになる。新規で登録できる駐車場は、登録データが自動で

リノベ提案にVR活用

導入の手軽さが決め手に

VRコンテンツ制作のスペースリー（東京都渋谷区）は4日、展開するVRソフト「スペースリー」が、三好不動産（福岡市）などが新たに始めるライフスタイル提案事業に採用されたことを発表した。

同事業は、三好不動産のほか九州TSUTAYA（同）、施設リノベーションを手掛けるシェル

「スペースリー」では、CGで制作された家具や小物によるバーチャルルームステージング機能を通して物件の魅力を発信できる。家具あり、家具なしの物件イメージが見られるほか、特殊な機器やアプリを使用せず手軽に導入できる「瞬間接客VR」機能もあり、今回の導入の決め手となった。

「スペースリー」は2016年11月の提供開始から1900社以上で導入されている。

スペースリー

フランスエイツ（同）の3社で企画運営する。マンションや戸建てなどの住宅リノベーションを通して物件の魅力を発信できる。家具あり、家具なしの物件イメージが見られるほか、特殊な機器やアプリを使用せず手軽に導入できる「瞬間接客VR」機能もあり、今回の導入の決め手となった。

「スペースリー」は2016年11月の提供開始から1900社以上で導入されている。

低重心の太陽光発電 屋根を傷付けずに設置

屋上発電

屋上の有効活用方法として太陽光発電パネルの販売・運営を手掛ける屋上発電（東京都中野区）は、同社独自の低重心架台による太陽光発電システムを2014年から販売している。

同社の太陽光パネルの特徴は、傾斜角度を5度と低くして耐風性を高めた点にある。太陽光パネルの架台の重心を低くすることにより、風力を利用しパネルを押さえつけることができる。そのため屋根にアンカーを打たず設置することが可能になる。設置の際に屋根を傷つけることもないため、取り付け工事による雨漏りの心配もない。

架台をアルミ製にし軽量化した。屋根と架台は強力な両面テープで貼り付ける。クレインや足場を組む必要がなくエレベーターでも搬入可能なため、工期が平均1日と短い。工事費用も従来の施工方法と比較し30%近く削減できるという。自立ちにくく景観条例にも抵触しない。

これまでの導入件数は500棟以上。賃貸マンション約200棟のほかに、学校や病院などにも導入されている。

「日本は海外と比較し再生可能エネルギーの分野において、遅れをとっている。社会的にも意義のある事業なので、普及を進めていきたい」と担当者話す。

サ高住の秘密

サ高住の支援サービスに依存しない「自立した高齢者」を捉えた賃貸住宅が好調だ。旭化成ホームズ（東京都千代田区）が10年以上も前に開発した「ヘルヴィレッジ」が、2015年から首都圏で棟数を増やしている。当社の商品15種の中でも伸び率が高い「担当者」という。サ高住とは似て非なもの。広い一軒家を売

「建物バリアフリー仕様」など最低限。間年度は8棟、16年度に

「子どもが自立し、

旭化成ホームズ

サ高住を避けるシニア的

り払って「子どものいる都心に住み替えた」と「買物がしやすい町に引っ越したい」と悩む65〜70歳代から支持を集めている。80歳以上の高齢者が約15%に達している。12棟、以降20棟、35棟と年1.5倍近いペースで伸びている。うち28棟が竣工しており、入居率は95%。

居住者の特徴について、シニア事業推進部の田辺弘之部長は「入居者のおよそ7割が、持ち家から引っ越してきた夫婦が単身者」と説明した。

「子どもが自立し、

屋上活用可能な物件

JTOWER 5万件突破

情報通信のインフラの設計・開発を手掛けるJTOWER（ジェイタワー）は2017年7月から、屋上に携帯基地局を設置できる物件を掲載するサイト「SITELOCATOR（サイトロケター）」を運営している。

屋上の有効活用を希望する不動産オーナーが、

無料で自身の物件を登録することが可能だ。携帯事業者は同サイトを「利用することにより、容易に携帯基地局の設置可能な物件を探索・選定できる」。

同サイトの運営開始から、東京電力パワーグリッド（東京都千代田区）より4万5000件の物件情報の提供を受けてき



写真右より日本賃貸保証・井坂泰志会長、三原市長、天満市長、日本賃貸保証・梅田社長

西日本豪雨、寄付金に感謝状

日本賃貸保証

被書を受けた広島県三原市に1000万円の寄付金を贈呈したことに對し、同市より感謝状を受け取った。

同日、三原市・天満祥典市長が日本賃貸保証の本社を訪問し、感謝状を手渡した。

天満市長は「豪雨による被害額は200億円以上のぼろ」と被害状況を説明。農業用地など700ヘクタールが水没し、地域によって道路や水道などのインフラが寸断されている

状況が続いているという。現在、今後の修復計画をまとめ終えた段階で「3月ごろには工事に着手できる見込み。寄付金は大変な支えになる」と語った。

日本賃貸保証は岡山県倉敷市にも義援金として1000万円を贈呈した。梅田真理子社長は「困ったときは助け合おうしかない。今後も利益の一部を社会に還元していきたい」とコメントした。

仲介会社招き交流会

ハウジングロビー

賃貸管理のハウジングロビー（長崎市）は、昨年12月10日に仲介会社を招待した交流会を同社のイベントスペースに開催した。仲介店舗15まで成約数が高まっていることに対し、感謝の意を表した。

交流会の開催は同社初の試みだ。自社とのつながりだけでなく、長崎の不動産業界を共に盛り立てていく同志として横のつながりも作ってきたいとの思いが開催につながったという。

た。1月時点で独自の物件情報5000件を合わせ、物件情報が5万件を突破した。

携帯電話の電波が5Gへ移行することによる設備投資ニーズの高まりを受け、ますます同サイトの有益性が高まると担当者らは期待する。

最新ニュース記事を無料で配信!

全国賃貸住宅新聞 @zenchin X LINE@

登録手順 ①... ②... ③... ④...
その他 友だち 友だち追加

QR コードから友達になる

ID 検索から友達になる
ID検索 @zenchin